

優秀賞

春江東小学校5年

吉澤陽華さん

●研究テーマ

セミのぬけがらの研究2

動機

昨年、家の庭でセミのぬけがらを観察し、セミの種類・数・ついている高さ・場所が分かった。今年は、昨年と比較し、さらに疑問に思ったことを調べた。

内容

- ①セミは、ニイニゼミ・アブラゼミ・ツクツクボウシの3種類だった。
- ②ぬけがらは全部で324個で、出始め・ピークが種類ごとにちがった。
- ③メスよりオスのぬけがらが多かった。セミはオスが多いのかもしれない。
- ④アブラゼミ、ツクツクボウシ、ニイニゼミの順に高いところで羽化する。
- ⑤ぬけがらの全長・幅と羽化する高さには関係がないと考えた。
- ⑥気温・地温が高いと羽化する数が増え、低いと減る。
- ⑦どのように登る木を選ぶのか、様々な角材で観察したが、結果が出なかった。
- ⑧昨年と比較して、ぬけがらの数は少なく、オスが少なく、メスが多く、低いところで羽化していた。

まとめや感想

今年の天気や気温、何年か前の天気や気温が、羽化する数や幼虫の大きさやオスメスの数の変化に関係するのではないかと思った。来年の結果と比べてみたい。

